

ごみをめぐる現状について お知らせします

本市のごみをめぐる現状をお知らせします。ぜひ、ご一読いただき理解を深めていただくとともに、循環型社会の形成に向けて、ごみの減量化と分別への更なるご協力をお願いします。

◎問い合わせ先 環境施設整備室 (☎ 82-1147)



家庭ごみの排出量

平成 22 年度 年間家庭ごみ排出量 18,421 トン

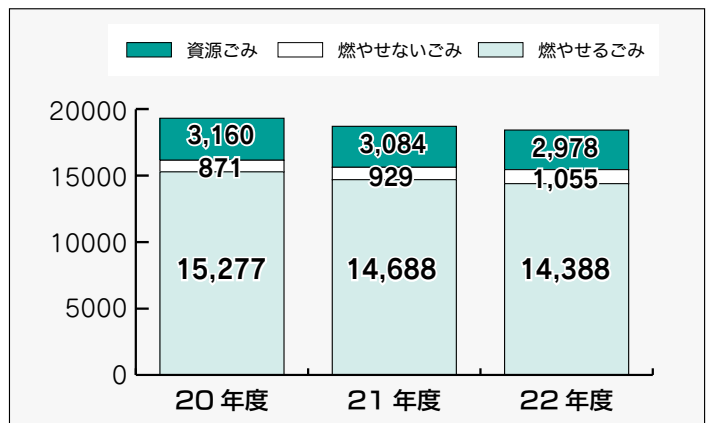
人口 66,157 人 / 世帯数 28,336 世帯
(平成 23 年 3 月 31 日現在)

平成 20 年度から 22 年度までの家庭ごみの排出量は図 1 のとおりです。22 年度の家庭ごみの排出量は 21 年度と比べて 280 トン (約 1.5%)、20 年度に比べて 887 トン (約 4.6%) 減少しています。1 人あたりでみると、年間の排出量は 20 年度 289 kg、21 年度 281 kg、22 年度 278 kg で、一日に換算すると 20 年度 792 g、21 年度 770 g、22 年度 762 g となり確実に減っています。これは市民のみなさんの分別排出等、環境意識の現れであり、今後も引き続きご協力をお願いします。

ただ図 1 をみると、燃やせないごみの量が年々増えています。これは一昨年 7 月 21 日、また昨年 7 月 15 日に発生した豪雨により使えなくなったものが排出されたためと考えられます。

なお、ここに挙げている排出量は市が通常収集したもののみです。

【図 1】 家庭ごみの排出量の推移 (単位: トン)



生ごみは水をよく切って

生ごみの 70 ~ 80% は水分です。この水分が多いと、焼却するための燃料を多く消費します。

穴のあいた袋を生ごみ用に使用し、袋がいっぱいになったら手で押しつぶす等して水気をしっかり切りましょう。

